

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限（1980年4月30日設定）
運用方針	中期利付国債をはじめとした公社債に投資し、日々の元本の安定性に配慮しながら運用を行います。
主要運用対象	中期利付国債をはじめとした公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎日決算を行い、日々の収益（元本超過額）の全額を分配します。 収益分配金は、毎月最終営業日に1ヵ月分をまとめて、税金を差し引いたうえ、再投資されます。

※当ファンドは、課税上、公社債投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

### 中期国債ファンド



《2015年11月》

（2015年5月29日～2015年11月29日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「中期国債ファンド」の2015年5月29日から2015年11月29日までの決算分につき、運用状況と分配金などをまとめてご報告申し上げます。  
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

MUFG

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

（9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

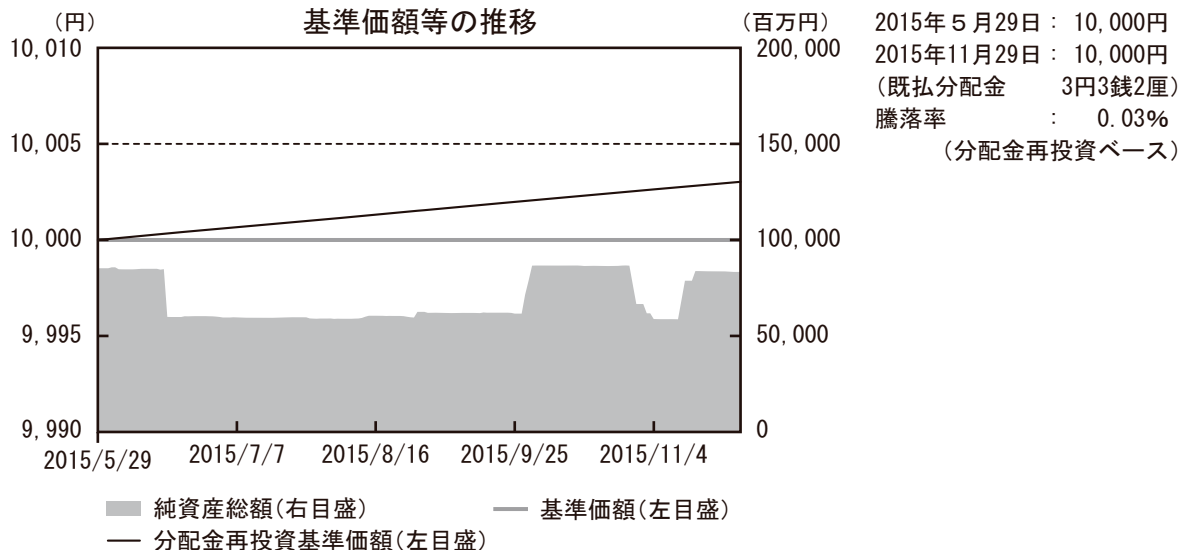
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(2015年11月：2015/5/29～2015/11/29)

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ0.03%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
---------	---



・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すもので、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

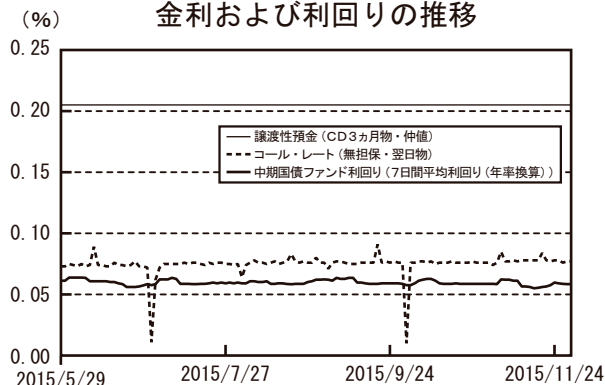
### 基準価額の変動要因

上昇要因	中期利付国債、コール・ローン、CP（コマーシャル・ペーパー）、現先などの投資を通じて、利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇に寄与しました。
------	---

## 投資環境について

(2015年11月：2015/5/29～2015/11/29)

### 金利および利回りの推移



### ◎国内短期金融市場

- ・ 当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年11月27日のコール・レートは0.077%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ 当ファンドの運用にあたっては、元本の安定性と流動性に配慮し、中期利付国債やコール・ローン、CP、現先などの短期金融商品を中心とした運用を行い、安定した収益の確保に努めました。その結果、利子等収益が積み上がり、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ 当ファンドは、中期利付国債をはじめとした公社債を主要投資対象とし、日々の元本の安定性に配慮しながら、安定した収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・ 従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

当ファンドは、毎日決算を行い、日々の収益（元本超過額）の全額を分配します。原則として収益分配金は、毎月最終営業日に1ヵ月分をまとめて、収益分配金に対する税金を差し引いたうえ、再投資されます。当作成期間の分配金は、1万口（元本1万円）当たり3円3銭2厘（年率0.059%）となりました。

## 今後の運用方針

### ◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

### ◎今後の運用方針

- ・引き続き中期利付国債やCP、現先などの短期金融商品を中心に投資し、元本の安定性と流動性を重視した運用を継続し、安定した収益の確保をめざす方針です。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○1万口（元本10,000円）当たり分配金（2015年5月29日から2015年11月29日まで）のお知らせ

年	月	1万口当たり分配金				
		税 込 み	所 得 税	地 方 税	源 泉 税 合 計	お 手 取 額
2015年	6月	52銭7厘	8銭	2銭6厘	10銭6厘	42銭1厘
	7月	51銭1厘	7銭8厘	2銭5厘	10銭3厘	40銭8厘
	8月	51銭1厘	7銭8厘	2銭5厘	10銭3厘	40銭8厘
	9月	49銭5厘	7銭5厘	2銭4厘	9銭9厘	39銭6厘
	10月	49銭1厘	7銭5厘	2銭4厘	9銭9厘	39銭2厘
	11月	49銭7厘	7銭6厘	2銭4厘	10銭	39銭7厘

(注) 上記期間の分配金は各月における前月最終営業日から当月最終営業日の前日までの合計。

※ 上記期間のお手取分配金は、各月の最終営業日にみなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。なお、上記期間内の途中でお買い付けの場合は、お買い付け日から各期間の末日までの分配金合計から、源泉税額を差し引いた額が再投資額となります。

## ◆課税上の取り扱い

- ・受益者が支払いを受ける収益分配金については利子所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収されます。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

## ○資産・負債・元本及び基準価額の状況

2015年11月29日現在

資産・負債・元本及び基準価額の状況										
資 産						合 計	負 債	純 資 産 額	元 本	1 万 口 当 たり 基 準 価 額
公 社 債	そ の 他 有 価 証 券		コ ー ル ・ ロ ー ン 等 そ の 他 資 産							
金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率					
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	百万円	百万円	円
4,001	4.7	64,984	77.0	15,368	18.3	84,353	1,004	83,349	83,349	10,000

(注) 11月29日現在における次期繰越金は4千円です。

(注) 比率は投資信託財産総額（84,353百万円）に対する比率です。

## &lt;注記事項&gt;

作成期首（前作成期末）元本額 85,273,396,419円

作成期中追加設定元本額 71,644,331,629円

作成期中一部解約元本額 73,568,393,166円

また、1口当たり純資産額は、当作成期間末1.0000円です。

○売買及び損益の状況

(2015年5月29日から2015年11月29日まで)

組入 有価証券の売買状況				先 物 取 引 状 況				損 益 の 状 況		
買 付		売 付		買 建		売 建		運用損益	信託報酬	収 益 配 金
公社債	その他 有価証券	公社債	その他 有価証券	新 規 買 付 額	決 済 額	新 規 売 付 額	決 済 額			
百万円 69,008	百万円 3,571,360	百万円 67,006 ( 7,000)	百万円 3,501,384 ( 67,000)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	千円 27,338	千円 6,277	千円 21,056
< 1,000>	< 74,992>	< —>	< 68,992>	< —>	< —>	< —>	< —>			

(注) 公社債の買付、売付は受渡代金(経過利子分は含まれておりません。)で、現先による金額を含めております。また( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 11月29日現在における先物取引の取引残高はありません。

(注) 組入 有価証券の売買状況および先物取引状況の< >内は利害関係人との取引金額です。

\* 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJリース、ジャックスです。

< 当作成期間中の分配金の計算過程 >

日々決算を行ない、原則として信託財産から生じる利益の全額を収益分配金に充当しております。なお、当作成期間に係る分配対象収益の合計額は21,061,164円、分配金額の合計額は21,056,347円です。

○組入資産の明細

(2015年11月29日現在)

(A) 国内(邦貨建) 公社債の種類別開示

区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	百万円 4,000	百万円 4,001	% 4.8	% —	% —	% —	% 4.8
	(4,000)	(4,001)	(4.8)	(—)	(—)	(—)	(4.8)
合 計	4,000 (4,000)	4,001 (4,001)	4.8 (4.8)	— (—)	— (—)	— (—)	4.8 (4.8)

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) ( )内は、中期国債で内書き。

(注) 評価については、金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建) 公社債の詳細開示(個別銘柄別)

種 類	銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	備 考
国債証券	第336回利付国債(2年)	0.1	1,000,000	1,000,123	2016/1/15	
	第339回利付国債(2年)	0.1	2,000,000	2,000,729	2016/4/15	
	第342回利付国債(2年)	0.1	1,000,000	1,000,605	2016/7/15	
合 計			4,000,000	4,001,458		

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年5月29日～2015年11月29日)

項 目	作 成 期 間		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間に発生した信託報酬額÷作成期間の平均受益権口数
( 投 信 会 社 )	0.90	0.009	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(0.20)	(0.002)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(0.64)	(0.006)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
( 0.06)	(0.001)		
(b) そ の 他 費 用	0.02	0.000	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0.02)	(0.000)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	0.92	0.009	
作成期間中の平均基準価額は、10,000 円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2015年7月1日)

②個人及び法人の受益者ともに、収益分配金ならびに償還時の元本超過額に対し、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の源泉徴収が行われます。

③2016年1月1日以降、個人受益者の換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）は譲渡所得として課税されます。

収益分配金は利子所得として源泉徴収が行われますが、確定申告により申告分離課税を選択することができます。また、利子所得および譲渡所得は上場株式等の譲渡損失および配当所得の損益通算の特例の対象に追加されます。

2016年1月1日以降、法人受益者は地方税5%が廃止され、税率は15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）となります。